

※本表は各年度ごとの主な新規・拡充の取組を掲載しています。

施策区分	2 0 2 4 年度	2 0 2 5 年度	2 0 2 6 年度
1－1 届ける・ 受け取る	(1) 情報を届ける・受け取るための取組みの推進		
	① 区ポータルにて、しぶや区ニュースのHTMLテキスト版の配信を開始。やさしい日本語への変換や音声読み上げに対応。4月		
	② LINE申請対象事業および手続きの拡大（35申請から36申請に）11月		
1－2 相談する	(1) 相談支援体制の充実		
	○ 地域課題の解決に向け、渋谷区自立支援協議会の体制を再編4月		
	② 渋谷区りばあさいど原宿内に医療的ケア児等コーディネーターを配置12月		
	③ 休日・夜間における緊急時の相談にも対応した渋谷区障がい者緊急相談窓口を開設5月		
	③ 障がい福祉サービスにつながない人に対し、訪問支援を行うアウトリーチ事業を開始5月		
	③ 渋谷区りばあさいど原宿内に特定相談・障害児相談支援事業所（Seamless Support Labsリンク）を開設12月		
	(2) 基幹相談支援センターによる地域の相談支援体制の支援		
2－1 育ち・学び	(1) 心身の発達・成長に寄り添った支援		
	③ 渋谷区りばあさいど原宿内に医療的ケア児等コーディネーターを配置12月		
	(2) 療育や保育の充実		
	② 渋谷区りばあさいど原宿にて保育所等訪問支援事業の開始12月		
	渋谷区りばあさいど原宿内に医療的ケア児にも対応した児童発達支援事業所（Seamless Support Labs ライズ）及び放課後等デイサービス事業所（Seamless Support Labs スプレッド）を開設12月		
	(3) 一人ひとりの子どもにあったきめ細やかな教育の実現		
	① 就学相談への理解を深めるため、就学相談説明会を2回開催4月		
	(4) 家族とともに育っていくための家族支援の検討		
	① ピアカウンセリング事業「おしゃべりSunday」の実施回数の増（1回⇒4回（予定））5月、9月、12月、3月（予定）		
2－2 社会参加	(1) 社会とつながる機会の充実		
	渋谷区りばあさいど原宿内に重症心身障がい児（者）及び医療的ケアにも対応した生活介護事業所（Seamless Support Labs インフィニティ）及び機能訓練事業所（Seamless Support Labs アドバンス）を開設12月		
	(2) 福祉的就労の機会確保と拡充		
	③ シブヤフロントラボが原宿スクエア7階に開業、火～金・隔週土日の営業を開始、同施設において定期的に障がい者施設で製作する自主製品の製作実演を開始4月		
	(3) 一般企業等による雇用や働きやすい環境づくりの促進		
	① ハートバレーしぶやが文化総合センター大和田9階へ移転5月		
	② 区役所内実習の実施回数の増、第1回を11月に実施、第2回実習を1月～2月に実施11月、1月～2月		
2－3 地域で暮らす	③ 会計年度任用職員（プレワーカー）9人雇用（継続9人）R5契約終了者は0人4月		
	(1) 地域で暮らし続ける体制づくり		
	② 地域生活支援拠点コーディネーターを設置5月		
	② 緊急時の受入れ体制の連携強化を図るため、地域生活支援拠点定例連絡会を開始7月		
	② 区内障がい福祉サービス事業所を対象に、事業所及び従業員の地域生活支援拠点に関する意識調査アンケートを実施、回収は可能な限り直接事業所を訪問して実施11月		
	② 区内の中心的地域生活支援拠点としてりばあさいど原宿が開設、主に緊急一時保護事業等を通し、相談や緊急時の受入れ等の機能を担う12月		
	③ 未治療・治療中断等アウトリーチ事業、長期入院地域移行促進支援事業拡充に向け、精神保健福祉士を雇用4月		
	③ 未治療・治療中断等アウトリーチ事業について、対象の抽出及び一部介入の開始8月		
	③ 入院者訪問支援事業の開始（東京都と連携し事業実施）10月		
	③ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場の運営、居住に関する問題について関係機関と協議11月		

『渋谷区障がい福祉推進計画（2024~2026）』進捗管理総括表

※本表は各年度ごとの主な新規・拡充の取組を掲載しています。

施策区分	2 0 2 4 年度		2 0 2 5 年度	2 0 2 6 年度
2－3 地域で暮らす	(2) 多様な暮らしの場の確保			
	(3) 日常生活を支えるサービスの充実			
	① 救急通報システム設置の際、ライフリズムセンサーの設置についても選択可能に	4月		
	① 高齢者食事券事業との併用可能による条件緩和／配食協力店舗増	4月		
	② 渋谷区りばぁさいど原宿内に、医療的ケア等が必要な人の一時預かりにも対応した短期入所事業所「Seamless Support Labs フレックス」を開設	1月		
	③ 福祉理美容券交付枚数の増（4枚⇒6枚）	4月		
2－4 集い・交流	(4) 経済的負担の軽減			
2－5 保健医療	(1) 「集いの場」づくりの検討			
	① 本町五丁目障がい者福祉施設（仮称）における、「集いの場」活用案について、意見交換	1月		
2－5 保健医療	(2) 文化芸術活動・生涯学習・スポーツの機会の充実			
3－1 理解促進	(1) 障がいを理由とする差別の解消			
	① 障害者差別解消法周知啓発用チラシを作成、くみんの広場にて配布	11月		
	② 障がい者差別解消支援地域協議会の実施回数増、第1回を9月に実施	9月		
	(2) 障がいへの理解、こころのバリアフリーの促進			
	① 心のサポーター養成研修の実施回数を2回に拡充	11月		
	① 精神保健講演会（ゲートキーパー講座）について、区民向け、支援者向け、職員向けに加え、新たに大学向けにも実施	7月、12月		
	② 第25回デフリンピック競技大会東京2025に向け、地域のイベントや区役所等にて機運醸成イベントの実施	10月、12月		
	② 手話をはじめとする意思疎通手段への理解促進イベントについて、第25回デフリンピック競技大会東京2025に向け、実施回数増、第1回はデフリンピック機運醸成イベントと共同で「ダイアログ・イン・サイレンス Showcase in Shibuya」を実施 第2回は対象を小学生から全世代に拡充し、実施	12月、2月		
3－2 バリアフリーなまちづくり				
	(1) まちや建物のバリアフリー化の推進			
	① 渋谷駅周辺施設に対するバリアフリー化推進事業助成について、助成対象要件を拡充	8月		
3－3 災害対策	③ バリアフリーマップのテスト運用を開始	7月		
	(2) 情報バリアフリーの推進			
3－4 人材育成	(1) 災害対策の強化			
	① 令和6年度避難行動要支援者名簿作成及び関係者向け説明会を実施	4月～7月		
	② 「渋谷区避難行動要支援者ハンドブック」を作成・配布開始	4月		
	(1) 人材の育成・確保			
	③ 音訳協力員の新規養成講習会の実施	6月～9月		
3－4 人材育成	⑥ 第1回ガイドヘルパー養成講座実施、ヘルパーの登録者増につなげるため、講座内の実習	6月、11月		
	(2) 資質向上・定着のための支援			
その他				